

2026年 3 月期 決算説明資料

2026年4月28日

NECキャピタルソリューション株式会社

2026年 3 月期 決算説明資料

1. 2026年 3 月期 実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2027年 3 月期 計画

(参考) SBI新生銀行グループとの事業シナジー創出の取り組みについて

1. 2026年 3 月期 実績報告

1) 決算ハイライト

事業環境

業界全体のリース取扱高は前年比3.0%増加
資金調達環境や倒産状況は引き続き今後の動向に注視が必要

営業実績

リース事業は、GIGA案件及び官公庁大型案件計上から契約実行高・成約高共に前年比大幅増加
ファイナンス事業は、ファクタリング取引の減少等に伴い契約実行高・成約高共に前年比減少

< リース事業 >	契約実行高：	22.6%増加	成約高：	28.9%増加
< ファイナンス事業 >	契約実行高：	13.4%減少	成約高：	13.3%減少

経営成績

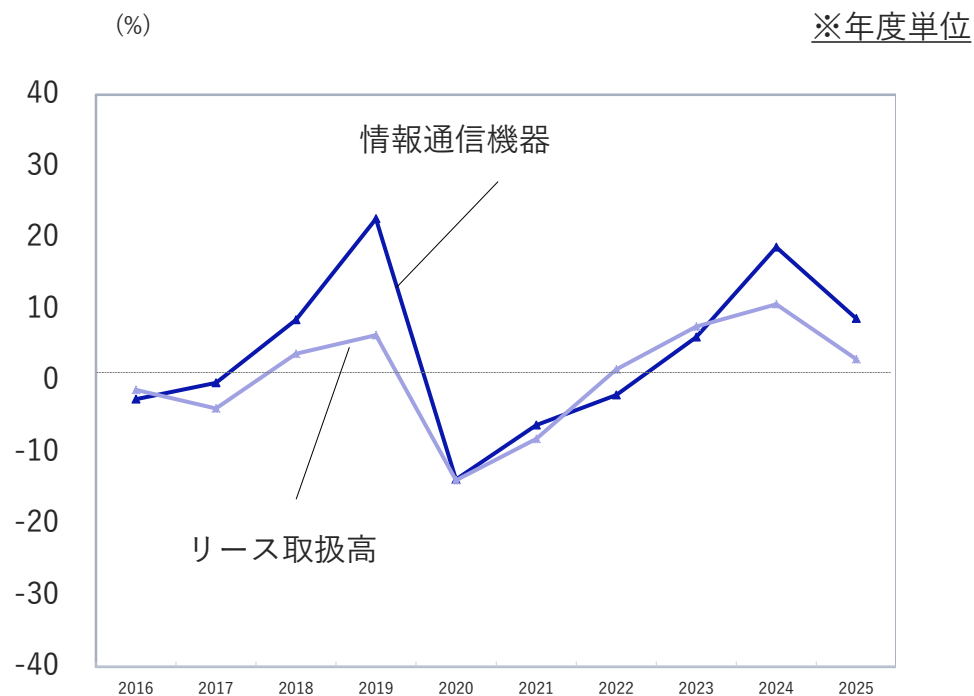
前年比で増収増益
最終利益は92億円（前年比38.9%増加）と過去最高益を更新

2) 事業環境

リース取扱高 業界全体は前年比3.0%増加、当社主力の情報通信機器は前年比8.7%増加

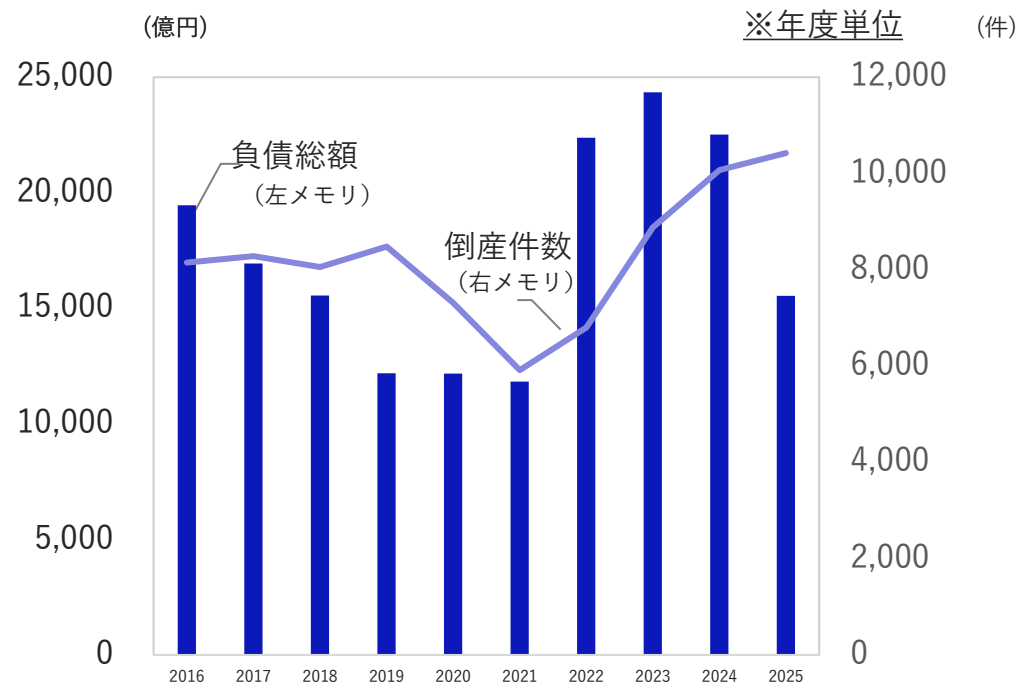
倒産状況 負債総額は前年比で減少したものの、倒産件数は前年比微増

リース取扱高動向（前年比推移）



(社団法人リース事業協会：リース統計より)

倒産状況（負債総額/件数）



(帝国データバンクHP：倒産集計より)

© NEC Capital Solutions Limited 2026

3) 業績概要

売上高

リース事業の堅調な推移や販売用不動産の物件売却等により前年比20.1%増加

最終利益

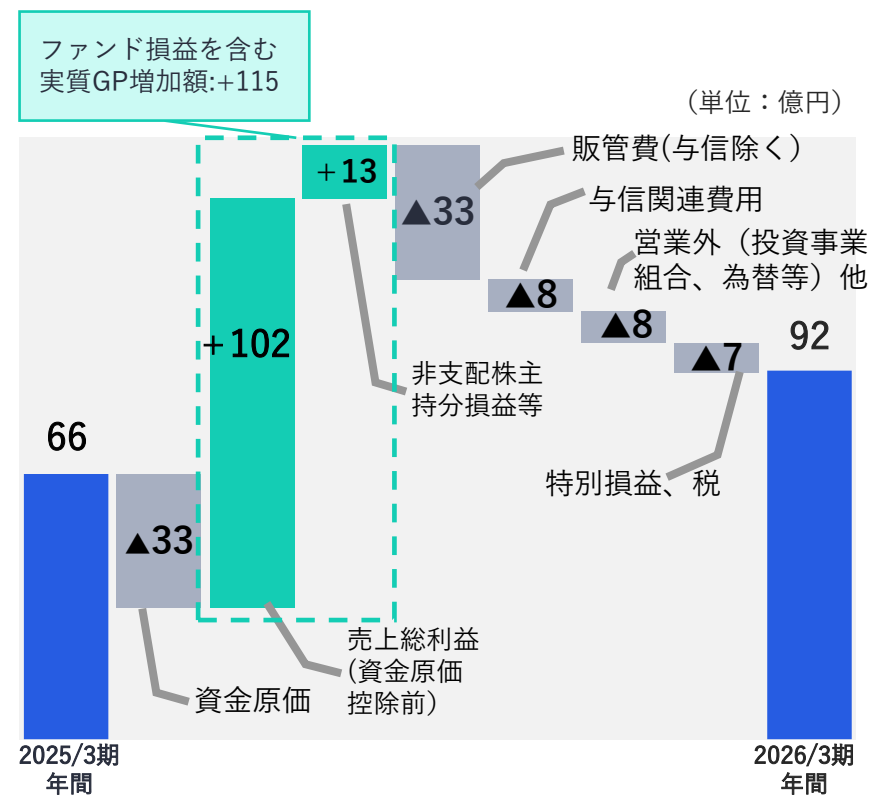
リース事業、インベストメント事業の増益に加え、その他の事業が大きく貢献し、前年比38.9%増加の92億円と過去最高益を更新

業績数値

(単位：億円)

	2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
売上高	2,549	3,062	+20.1%
営業利益	78	106	+36.4%
経常利益	94	114	+21.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	66	92	+38.9%
1株当たり当期純利益	306円98銭	426円15銭	—
営業資産残高	10,470	11,787	+12.6%
純資産	1,424	1,536	+7.9%
自己資本	1,210	1,303	+7.7%
自己資本比率 (%)	9.9	9.7	—
1株当たり年間配当金 (円)	150	150	—

最終利益 前年比主要増減要因



4) 事業別損益

事業別損益

(単位：億円)

		2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
リース 事業	売上高	2,292	2,416	+5.4%
	売上総利益	160	181	+13.4%
	営業利益	44	62	+42.7%
ファイナンス 事業	売上高	76	87	+14.4%
	売上総利益	48	51	+6.2%
	営業利益	29	19	▲33.9%
インベストメント 事業	売上高	138	244	+76.4%
	売上総利益	69	87	+25.1%
	営業利益	22	24	+7.9%
その他の 事業	売上高	44	316	+621.2%
	売上総利益	21	48	+133.2%
	営業利益	5	24	+358.6%
計	売上高	2,549	3,062	+20.1%
	売上総利益	297	366	+23.4%
	営業利益	78	106	+36.4%

リース事業

営業資産の積み上げが奏功し、前年比増収増益

ファイナンス事業

フィー収入の増加等により売上高・売上総利益は増加したものの、営業利益は貸倒引当金計上等に伴い前年比減少

インベストメント事業

金利収入や不動産の売却収入等により前年比増収増益

その他の事業

販売用不動産や太陽光発電設備の売却等により前年比大幅増収増益

5) 事業別の営業状況

事業別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
リース事業	2,541	3,114	+22.6%
賃貸事業	2,399	3,004	+25.3%
割賦販売	142	110	▲22.7%
ファイナンス事業	3,440	2,977	▲13.4%
営業貸付金	2,344	1,976	▲15.7%
一括ファクタリング	1,095	1,002	▲8.6%
その他の事業	27	—	—
計	6,007	6,091	+1.4%

事業別成約高

(単位：億円)

	2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
リース事業	2,379	3,067	+28.9%
賃貸事業	2,246	2,951	+31.4%
割賦販売	133	116	▲12.7%
ファイナンス事業	3,434	2,975	▲13.3%
営業貸付金	2,338	1,974	▲15.6%
一括ファクタリング	1,095	1,002	▲8.6%
その他の事業	79	—	—
計	5,892	6,042	+2.6%

事業別契約実行高・事業別成約高

リース事業（賃貸事業）は前年比で大幅増加した一方、ファイナンス事業は前年比減少
全体では前年比増加

6) リース事業の営業状況

業種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
官公庁	1,583	2,125	+34.3%
民需	958	989	+3.2%
サービス業	326	339	+4.0%
流通業	154	197	+28.0%
製造業	258	237	▲8.0%
その他	220	215	▲2.0%
計	2,541	3,114	+22.6%

業種別成約高

(単位：億円)

	2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
官公庁	1,440	2,167	+50.5%
民需	939	900	▲4.1%
サービス業	318	326	+2.3%
流通業	165	170	+2.6%
製造業	261	210	▲19.8%
その他	194	195	+0.6%
計	2,379	3,067	+28.9%

(参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
情報通信機器	2,127	2,573	+20.9%
電子計算機及び関連装置	990	1,471	+48.5%
ソフトウェア	996	977	▲1.8%
通信機器及び関連装置	141	124	▲12.1%
事務用機器	156	173	+10.8%
その他機器	257	369	+43.3%
計	2,541	3,114	+22.6%

業種別契約実行高

- ・ 官公庁は、GIGA案件及び大型案件の積み上げ等により前年比大幅増加
- ・ 民需は、製造業やその他は減少も全体では前年比微増

業種別成約高

- ・ 官公庁は、GIGA案件及び大型案件等の積み上げ等により前年比大幅増加
- ・ 民需は、製造業の減少等により前年比減少

7) ファイナンス事業の営業状況

契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
立替・APF・割賦バック	164	159	▲2.9%
個別ファクタリング	1,131	589	▲47.9%
一括ファクタリング	1,095	1,002	▲8.6%
企業融資	917	1,144	+24.8%
その他	133	84	▲37.2%
計	3,440	2,977	▲13.4%

業種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 年間	2026/3期 年間	前年比
官公庁	1	1	▲45.2%
民需	2,343	1,975	▲15.7%
サービス業	167	191	+14.2%
流通業	39	40	+3.6%
製造業	1,208	654	▲45.9%
金融業・保険業	268	278	+3.5%
不動産業	418	613	+46.7%
その他	243	200	▲17.6%
一括ファクタリング	1,095	1,002	▲8.6%
計	3,440	2,977	▲13.4%

契約形態別契約実行高

ファクタリングの落ち込み等から全体は前年比減少したものの、注力する企業融資は前年比大幅増加

業種別契約実行高

企業融資が多い不動産業が前年比大幅増加したものの、個別ファクタリングの多い製造業では前年比減少

8) インベストメント事業の状況

事業別損益

(単位：億円)

		2025/3期 年間	2026/3期 年間	差異
アセットビジネス	売上高	66	158	92
	売上総利益	40	49	9
	営業利益	4	5	1
不動産	売上高	66	80	14
	売上総利益	24	33	8
	営業利益	18	20	2
アドバイザリー	売上高	5	5	▲0
	売上総利益	5	5	▲0
	営業利益	0	▲1	▲2
連結ベース 計	売上高	138	244	106
	売上総利益	69	87	17
	営業利益	22	24	2

※「調整額」を除いて表示

不動産における安定的な収益拡大等により
全体では増収増益

アセットビジネス

買取債権、金利収益等の増加により前年比で
増収増益

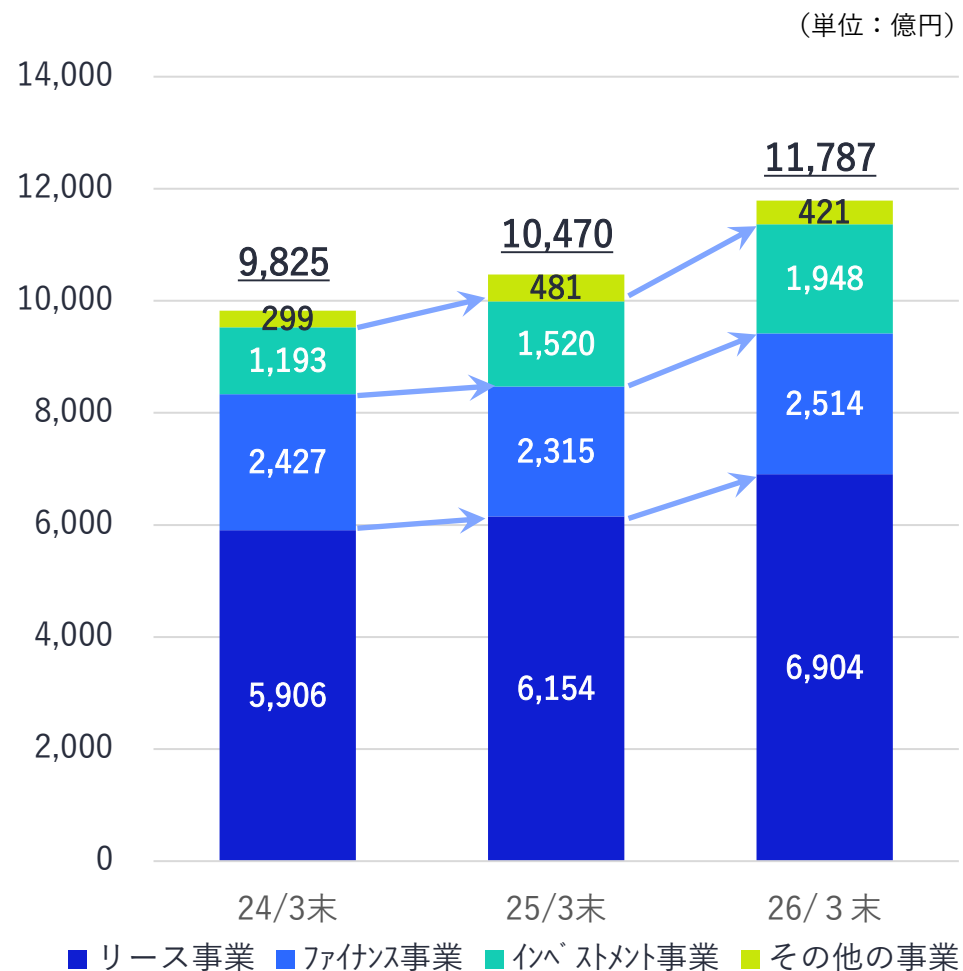
不動産

販売用不動産の売却や賃料収入等を着実に計上
し、前年比増収増益

アドバイザリー

前年並みの推移

9) 営業資産残高の状況



リース事業

GIGA案件及び官公庁大型案件等の資産計上により前年比750億円増加

ファイナンス事業

アセットの入れ替えを推進し前年比198億円増加

インベストメント事業

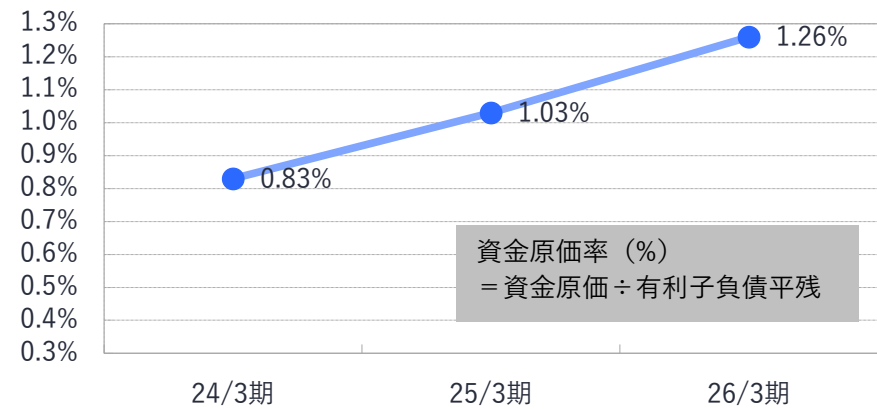
買取債権および営業貸付等の増加により前年比428億円増加

その他の事業

アセットを入れ替えながら概ね前年並みの残高を確保

10) 資金調達状況

資金原価率

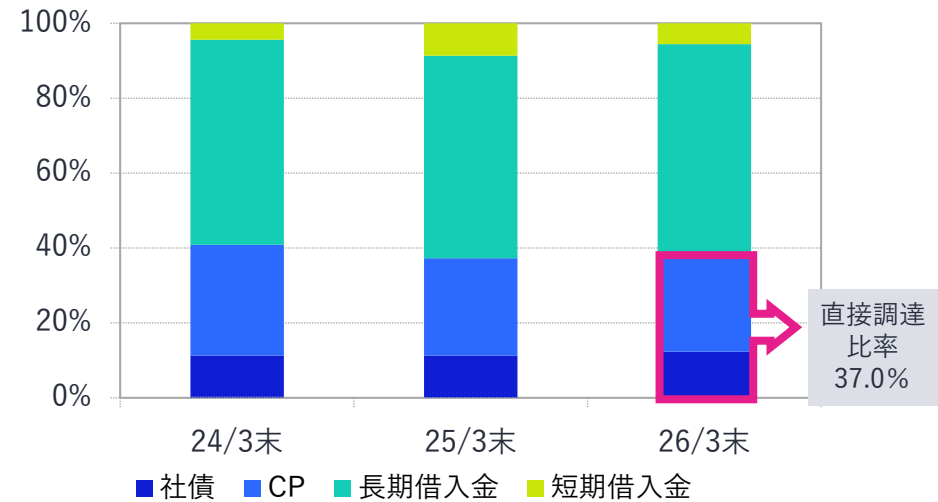


有利子負債残高

(単位：億円)

	2025/3末	構成比	2026/3末	構成比	増減
短期借入金	885	8.6%	606	5.5%	▲279
長期借入金	5,540	54.1%	6,272	57.4%	+732
CP	2,660	26.0%	2,700	24.7%	+40
社債	1,136	11.1%	1,331	12.2%	+195
債権流動化	22	0.2%	18	0.2%	▲4
計	10,243	100%	10,927	100%	+683

有利子負債構成比



資金原価率

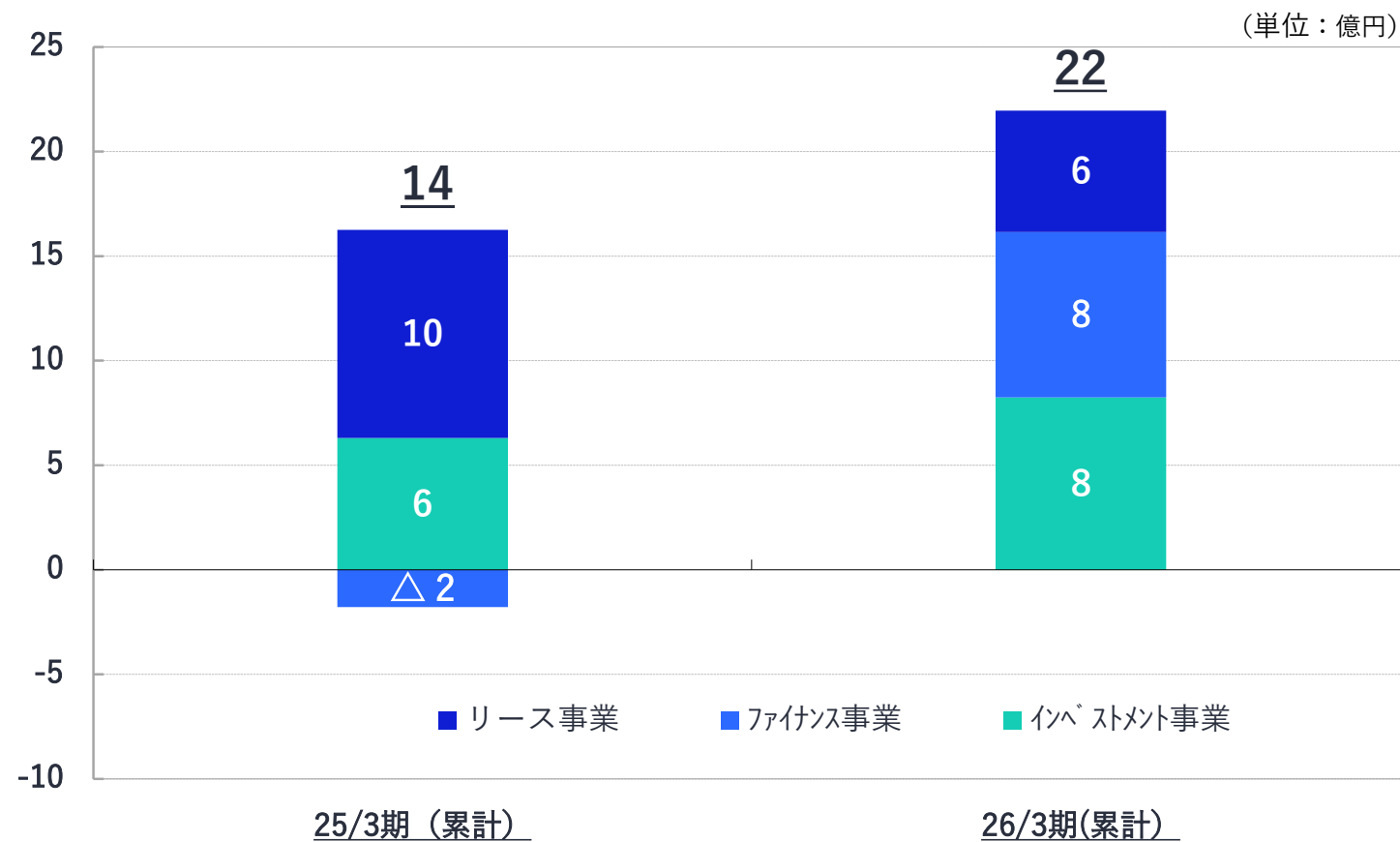
外貨金利は低下したものの、円金利の上昇等に伴い、前年比0.23ポイント増加の1.26%

直接調達比率

おおむね40%程度を目線とし、2026/3末は37.0% (2025/3末37.3%)

11) 与信関連費用

リース事業で減少したものの、ファイナンス事業及びインベストメント事業の与信コストが増加し、前年比で7.5億円の増加



2. 2027年3月期 計画

1) 業績予想

- ・ 中期計画2028に基づく戦略の推進により、最終利益で過去最高値の更新を計画
- ・ 2027年3月期の1株当たりの配当金は、2026年3月期と同様の年間150円を予想

業績予想

(単位：億円)

	2026/3期 年間(実績)	2027/3期 年間(予想)	増減
売上高	3,062	3,100	+38
営業利益	106	165	+59
経常利益	114	170	+56
親会社株主に帰属する純利益	92	100	+8
1株当たり純利益 (円)	426円15銭	464円15銭	-

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2026/3期 実績	75円00銭	75円00銭	150円00銭
2027/3期 予想	75円00銭	75円00銭	150円00銭

参考) SBI新生銀行グループとの事業シナジー創出の取り組みについて

- 2024年10月の業務提携契約の締結以降、定例協議会等において具体的な連携内容を特定し推進中
- 2026/3期の契約実行高実績は「計197億円、36件」と着実な積み上がり

<2026/3期の状況>

■ 不動産ファイナンス分野

- ・ オフィス、レジデンスに対するメザニンローン案件の実行
- ・ ウェアハウジング事業やファンド組成等の取り組み

■ 再生可能エネルギー分野

- ・ 太陽光発電事業や蓄電所に対するメザニンローンおよびエクイティ案件の実行
- ・ 低圧太陽光発電所に対するファンド組成の取り組み

■ その他

- ・ 協調リースや債権譲渡の取り組み等

2026/3期 実績

157億円

19件

11億円

3件

29億円

14件

NECキャピタルソリューション グループビジョン

次世代循環型社会をリードする Solution Company



NEC

\Orchestrating a brighter world